

令和3年度【観光振興事業】補助事業要望調査票(乗合バス関係)

令和3年度の車両・機器等導入にかかる補助事業について、各事業者の皆さまのご要望を調査します。

毎年度、早期の内示、交付決定を希望するご意見を多数いただくため、今回調査時期を前倒すこととしました。よって、現時点(令和2年度)の補助金交付要綱、実施要領、運用方針に基づき、調査を実施します。補助金交付要綱等が正式に策定された際、ご要望に沿わない結果になることもあり得ます。さらに、当省の進める政策の主旨をご理解の上、積極的に取り組まれる事業者を優先的に支援させていただきたいと考えています。その点ご了承の上、ご回答ください。

ご要望は、各地方運輸局運輸支局の管轄区域毎に調査票にまとめ、当該運輸支局の輸送担当あてに提出してください。

※補助金の交付は予算の範囲内において行うため、ご希望に沿えない場合があります。あらかじめご承知おき下さい。

会社名

(TEL)

ご連絡先 (FAX)

ご担当者名

(E-mail アドレス)

【必ずお読みください】観光振興事業の要件について

- ※1 観光振興事業補助を活用するには、補助事業を行う区間が、「令和2年3月6日付 観光庁告示第二号」により外国人観光旅客利便増進措置を講ずべき区間(以下「指定区間」))として観光庁長官の指定を受けている必要があります。
また、補助金交付申請を行うまでに観光庁の指定する手続きにより、公共交通利用環境刷新計画の認定を受ける必要があります。
- ※2 観光振興事業補助を活用するには、多言語対応・無料Wi-Fiサービス導入・キャッシュレス決済対応・感染症拡大防止対策のうち3つ以上を行うことが必須要件となります。
(例. 多言語対応の補助を受ける場合、機器導入と同時に、無料Wi-Fi導入及びキャッシュレス決済対応を行う)
(例. 多言語対応の補助を受ける場合、機器導入の際、すでに無料Wi-Fi導入及びキャッシュレス決済対応が行われている)
- ※3 観光振興事業補助を活用してインバウンド対応型バス(KB-20~30)を導入するには、多言語対応・無料Wi-Fiサービス導入・キャッシュレス決済対応・感染症拡大防止対策のうち3つ以上を、車両の導入と同時に行うことが必須要件となります。
(例. インバウンド対応型バスの補助を受ける場合、車両導入と同時に、多言語対応・無料Wi-Fiサービス導入・キャッシュレス決済対応を行う)
(例. インバウンド対応型バスの補助を受ける場合、車両導入の際、すでに多言語対応・無料Wi-Fiサービス導入・キャッシュレス決済対応が行われている)
- ※4 多言語対応、無料Wi-Fiサービス導入、キャッシュレス決済対応、感染症拡大防止対策、インバウンド対応型バス(KB-20~30)の導入に要する経費のうち、オプションを除く機器本体価格(税抜き)・車両本体価格(税抜き)が補助対象になります。

1. 観光振興事業の要件該当確認

○ 指定区間(告示系統) (起点 ~ 終点)

※1 指定区間が複数ある場合は上記に代表となる区間を書き入れ、残りを別紙として一覧としたものを提出してください。上記欄内に書き切れない場合は別紙として記載の上提出してください。

○ 必須メニュー導入計画 (導入形態の確認) (観光振興補助金申請の有無確認)
※以下の3つのうちどれかを選択してください。 ※以下の2つのうちどれかを選択してください。

- | | | | | | |
|----------------|-------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| ・ 多言語対応 | <input type="checkbox"/> 新規導入 | <input type="checkbox"/> 既存機器の活用 | <input type="checkbox"/> 機能向上(買換) | <input type="checkbox"/> 補助金申請する | <input type="checkbox"/> 補助金申請しない |
| ・ 無料Wi-Fi サービス | <input type="checkbox"/> 新規導入 | <input type="checkbox"/> 既存機器の活用 | <input type="checkbox"/> 機能向上(買換) | <input type="checkbox"/> 補助金申請する | <input type="checkbox"/> 補助金申請しない |
| ・ トイレの洋式化※ | <input type="checkbox"/> 新規導入 | <input type="checkbox"/> 既存機器の活用 | <input type="checkbox"/> 機能向上(買換) | <input type="checkbox"/> 補助金申請する | <input type="checkbox"/> 補助金申請しない |
| ・ キャッシュレス決済対応 | <input type="checkbox"/> 新規導入 | <input type="checkbox"/> 既存機器の活用 | <input type="checkbox"/> 機能向上(買換) | <input type="checkbox"/> 補助金申請する | <input type="checkbox"/> 補助金申請しない |
| ・ 感染症拡大防止対策 | <input type="checkbox"/> 新規導入 | <input type="checkbox"/> 既存機器の活用 | <input type="checkbox"/> 機能向上(買換) | <input type="checkbox"/> 補助金申請する | <input type="checkbox"/> 補助金申請しない |

※バスターミナル事業者のみ必須となります。

○ 選択メニュー導入計画

- ・ インバウンド対応型バスの導入 導入する (新規導入 車両代替(NS→NS))
(ノンステップ(NS)バス、リフト付きバス、連節バス)
- ・ 外国人旅行者が移動を楽しむバスの導入 導入する (新規導入 機能向上(買換))
- ・ 情報端末充電機器等の導入 導入する (新規導入 機能向上(買換))

※1 「新規導入」とは、未導入の場合であり、一部でも導入している場合は該当しません。

例① 導入予定のインバウンド対応型バスに搭載するための翻訳タブレット又は翻訳機(ポケット等)、無料WiFiルーター、クレジットカード決済端末等キャッシュレス決済機器、感染症拡大防止対策のうちどれかが導入済み(購入済み、又は既存車両から付け替え予定)という場合は、他の機器を新たに購入する場合でも、「新規導入」には該当しません。

(次ページに続きます。)

- 例② 導入予定のインバウンド対応型バスに搭載するための翻訳タブレット、又は翻訳機(ポケット等)、無料WiFiルーター、キャッシュレス決済機器、感染症拡大防止対策がどれも導入されておらず、新たに導入する必要がある場合(既に所有している車両にこれらが導入されている場合でも、付け替えの予定がないため、追加で購入が必要な場合)は、「新規導入」に該当します。
- 例③ インバウンド対応型バスの導入がなく、所有車両の中に翻訳タブレット又は翻訳機(ポケット等)、無料WiFiルーター、キャッシュレス決済機器、感染症拡大防止対策全てが導入されていない車両があり、その車両にこれらを新たに導入するという場合は、他の所有車両の中にこれら導入済みの車両があったとしても、「新規導入」に該当します(車両単位で判断しているため)。

2. 令和3年度の要望について

① 多言語化への取組み

整理記号	要望台数	要望台数	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (補助対象経費×補助率※)	導入予定時期
KB-1	多言語案内用タブレット (翻訳アプリが搭載されたもの)	台	千円	千円	令和 年 月 日
KB-2	多言語翻訳システム機器 (ポケット等、ili(イリイ)等)	台	千円	千円	令和 年 月 日
KB-3	ホームページの多言語表記	式	千円	千円	令和 年 月 日
KB-4	多言語バスロケーションシステムの導入	台	千円	千円	令和 年 月 日

※ 補助率は、上記1. で必須メニュー導入計画がすべて「新規導入」となっている場合は1/2、それ以外は1/3を適用してください。

- ※1 各導入機器については、製品が特定でき、要望額が検証できるよう、カタログ、見積書(なければ価格表)の写しを添付してください。ないものについては内示できない場合があります。
- ※2 ホームページの他言語表記(KB-3)はパソコン、スマートフォンから利用可能で、検索機能、予約システムを備えたものが補助対象になります。
- ※3 多言語バスロケーションシステム(KB-4)については、車載機器のほか、営業所に置くPC等の機器、システム導入費、データのGTFS化も補助対象となります。補助対象経費にはそれらも含めた導入経費総額を記載してください。また、車載機器の価格のわかる資料のほか、システム導入経費、データのGTFS化等車載器以外の価格のわかる資料を添付してください。更に、バス1台あたりの車載機器の経費も明示してください。ないものについては内示できない場合があります。

② その他多言語化(案内標識の多言語表記、案内放送の多言語化等)

整理記号	事業概要	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (補助対象経費×補助率※)	導入予定時期
KB-5		千円	千円	令和 年 月 日

※ 補助率は、上記1. で必須メニュー導入計画がすべて「新規導入」となっている場合は1/2、それ以外は1/3を適用してください。

- ※1 多言語表記は英語併記を行うものを基本とし、中国語(簡体字/繁体字)又は韓国語その他必要とされる言語も対象とします。表記に当たっては、視認性、美観を損なわないよう配慮する必要があります。
- ※2 ナンバリング、ピクトグラムにかかる経費は、多言語表記と合わせて行う場合補助対象とします。
- ※3 事業内容が判別でき、要望額が検証できるよう、カタログ(事業内容を説明した書面)、見積書(なければ価格表)の写しを添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

③ 無料公衆無線LAN機器の導入

整理記号	要望台数	要望台数	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (補助対象経費×補助率※)	導入予定時期
KB-6	無料公衆無線LAN (無料Wi-Fi)	台	千円	千円	令和 年 月 日

※ 補助率は、上記1. で必須メニュー導入計画がすべて「新規導入」となっている場合は1/2、それ以外は1/3を適用してください。

- ※1 無料公衆無線LAN環境の整備に要する経費は、「機器購入費」(無料公衆無線LAN機器の購入に係る費用)及び「機器設置工事費」(無料公衆無線LAN機器の設置工事に係る費用、ソフトウェア購入費(セキュリティー対策含む。))を補助対象とします。
- ※2 いわゆる「ポケットWiFi」を導入する場合は、容易に持ち出しできないよう、車両内部に固定するものを補助対象とします。
- ※3 本事業による補助金を活用し、無料公衆無線LAN環境の整備を図る際は、共通シンボルマークJapan.Free Wi-Fiの申請も併せて行い、同シンボルマークの掲出を行う必要があります。
- ※4 製品が特定でき、要望額が検証できるよう、カタログ、見積書(なければ価格表)の写しを添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

④ キャッシュレス車載機器の導入

整理記号	要望台数	要望台数	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (補助対象経費×補助率※)	導入予定時期
KB-7	クレジット決済機器	台	千円	千円	令和 年 月 日
KB-8	交通系IC決済機器	台	千円	千円	令和 年 月 日
KB-9	QR決済機器	台	千円	千円	令和 年 月 日

※ 補助率は、上記1. で必須メニュー導入計画がすべて「新規導入」となっている場合は1/2、それ以外は1/3を適用してください。

- ※1 機能の明確な向上ではないもの(故障、老朽化等に対応するための修理修繕及び代替更新のみに要する経費)は補助対象になりません。
- ※2 交通系IC決済機器(KB-8)と同時に、利用者に配布する交通系ICカードを購入する場合の補助対象費用は、全国相互利用可能なものであって、補助対象期間内に利用者に配付されたことが文書により確認可能なものを購入する経費のみを補助対象とします。なおデポジットや発行手数料を徴するものは対象になりません。
- ※3 各導入機器について、製品、機器構成が判別でき、要望額が検証できるよう、カタログ(システム構成図)、見積書(なければ価格表)の写しを添付してください。また、バス1台あたりの車載機器の経費が分かる資料も添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

⑤ その他キャッシュレスシステムの導入

整理記号	事業概要	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (補助対象経費×補助率※)	導入予定時期
KB-10		千円	千円	令和 年 月 日

※ 補助率は、上記1. で必須メニュー導入計画がすべて「新規導入」となっている場合は1/2、それ以外は1/3を適用してください。

事業の具体的内容を以下に記入の上、見積書(なければ価格を検証できるもの)を添付してください。

- ※1 機能の明確な向上ではないもの(故障、老朽化等に対応するための修理修繕及び代替更新のみに要する経費)は補助対象になりません。
- ※2 各導入機器については、製品、機器構成が判別でき、要望額が検証できるよう、カタログ(システム構成図)、見積書(なければ価格表)の写しを添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

⑥ 感染症拡大防止対策設備の導入

※以下については令和2年度第二次補正予算「地域公共交通感染症拡大防止対策事業」で交付決定を受けた対象費用は今回補助対象になりませんのでご注意ください。

該当する事業の対象経費、要望額を記載してください。
(インバウンド対応型バス等(KB-20~30)の導入と共に、以下のKB-11~18のいずれかを導入する場合は、KB-20~30にも必要台数を記入してください。)

整理記号	要望台数	要望台数	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (補助対象経費×補助率※)	導入予定時期
KB-11	空気清浄機(車載用)	台	千円	千円	令和 年 月 日
KB-12	空気清浄モニター	台	千円	千円	令和 年 月 日
KB-13	低濃度オゾン発生装置	台	千円	千円	令和 年 月 日
KB-14	運転席仕切りカーテン隔壁	台	千円	千円	令和 年 月 日
KB-15	車内抗菌処理(光触媒噴霧等)	台	千円	千円	令和 年 月 日
KB-16	熱感知カメラ	台	千円	千円	令和 年 月 日
KB-17	利用者に対し感染症対策への協力を求めるための周知等	台	千円	千円	令和 年 月 日

※ 補助率は、上記1. で必須メニュー導入計画がすべて「新規導入」となっている場合は1/2、それ以外は1/3を適用してください。

(次ページに続きます。)

⑦ その他感染症拡大防止対策設備の導入

整理記号	事業概要	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (補助対象経費×補助率※)	導入予定時期
KB-18		千円	千円	令和 年 月 日

※ 補助率は、上記1. で必須メニュー導入計画がすべて「新規導入」となっている場合は1/2、それ以外は1/3を適用してください。
 事業の具体的内容を以下に記入の上、見積書(なければ価格を検証できるもの)を添付してください。

- ※1 感染症拡大防止対策設備については、事前に対象となる機器は指定しませんが、第三者機関による効果検証・結果を記した証書が添付されたものを優先的に補助対象と認定します。
 車載用空気清浄機、空気清浄モニターとして国土交通省が把握している製品としては以下のものがありますので参考としてください。これらを導入する場合、更に他の機器を導入する場合も上記のとおり、第三者機関による効果検証・結果を記した証書が添付されたものを優先的に補助対象と認定します。
- ※2 **株式会社デンソー 高性能フィルター付空気清浄機(Puremie(ピュアミエ))**
<https://www.denso.com/jp/ja/news/newsroom/2021/20210115-01/>(株式会社デンソーホームページ)
- ※3 低濃度オゾン発生装置として国土交通省が把握している製品としては以下のものがありますので参考としてください。これらを導入する場合、更に他の機器を導入する場合も上記のとおり、第三者機関による効果検証・結果を記した証書が添付されたものを優先的に補助対象と認定します。
オーニット株式会社 バス車内専用オゾン発生器 (SK-10BUS) <http://www.ohnit.co.jp/> (オーニット株式会社ホームページ)
- ※4 感染拡大防止対策と直接関係がないと認められた場合、当該機器は補助対象とならない場合もあります。
- ※5 各導入設備については、上記第三者機関発行の証書のほか、製品、機器構成が判別でき、要望額が検証できるよう、カタログ(機器構成図)、見積書(なければ価格表)の写しを添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

○感染症対策に係る、他の補助制度活用の予定

- 国庫補助金 (補助金名) (補助予定額: 千円)
(補助の対象)
- 地方自治体からの補助金(都道府県) (補助金名) (補助予定額: 千円)
(補助の対象)
- 地方自治体からの補助金(市町村) (補助金名) (補助予定額: 千円)
(補助の対象)

※ 上述の地方自治体の補助金額と本事業による交付額の合計が、補助対象経費を超えた場合は、補助金の返納をしていただく場合があります。

⑧ バス車両又はバスターミナルのトイレの洋式化

整理記号	事業概要	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (補助対象経費×補助率※)	導入予定時期
KB-19		千円	千円	令和 年 月 日

※ 補助率は、上記1. で必須メニュー導入計画がすべて「新規導入」となっている場合は1/2、それ以外は1/3を適用してください。
 事業の具体的内容を以下に記入の上、見積書(なければ価格を検証できるもの)を添付してください。

(前ページからの続き)

- ※1 基本整備項目(和式便器の洋式化、洋式便器の増設、洋式便器の旧式から新式への交換(温水洗浄便座を設置するものに限る。)、洋式便器の新設(建替、増築、新築時))及び基本整備項目に該当する事業と共に整備する項目(追加整備項目(温水洗浄便座、暖房便座、ハンドドライヤー、洗面器(自動水栓化等)、化粧鏡、小便器(自動水栓化等)、LED照明、室内空調(換気、冷暖房)設備、外装工事(屋根部分は除く。)、窓、入口ドア、案内標識(多言語又はピクトサイン等により、トイレであることを示す標識やトイレの場所まで誘導することを目的に設置する看板等)、案内表示(トイレ施設内のピクトサインや使用方法を説明する多言語表示の設置等)、掃除流し、その他)が補助対象となります。
- ※2 工事の内容、経費内訳のわかる資料を添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

⑨ インバウンド対応型バス(ノンステップバス、リフト付きバス)の導入について

整理記号	要望台数	要望台数	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額	導入予定時期
KB-20	ノンステップバスの導入	台	千円	(上限額下記参照) 千円	令和 年 月 日
KB-21	リフト付きバスの導入	台	千円	(補助対象経費×補助率※) 千円	令和 年 月 日
KB-22	エレベーター(EV)付きバスの導入	台	千円	(補助対象経費×補助率※) 千円	令和 年 月 日

※ノンステップバスの上限額は、上記1. で必須メニュー導入計画がすべて「新規導入」となっている場合は2,100千円、それ以外は1,400千円となります

※リフト付きバス、エレベーター(EV)付バスの補助率は、空港アクセスに持ちいられる場合は補助対象経費(通常車両との差額)×2/3、それ以外は×1/2としてください。異なる補助率が適用される車両が複数ある場合は内訳のわかる資料を添付してください。

- ※1 車種、価格(導入車両、通常車両)のわかる資料を添付してください。ないものについては内示できない場合があります。
- ※2 連節バスを導入する場合は連節バスと一体として整備する停留施設、公共車両優先システム(PTPS)車載器等も対象となります。補助対象経費にはそれらの導入経費も加え額を記載してください。また、上記のとおり車種、価格のわかる資料のほか、車両と一体として整備する停留施設等の内容、価格のわかる資料を添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

○車両の導入状況(以下に数値を記載してください。)

- ・乗合バス車両の総保有台数(A) ()台
- ・2020年度末における、ノンステップバス車両の総保有台数(B) ()台 (B/A %)
- ・2021年度末における、ノンステップバス車両の総保有予定台数(C) ()台 (C/A %)
- ・2020年度末における、リフト付バス車両の総保有台数(D) ()台 (D/A %)
- ・2021年度末における、リフト付バス車両の総保有予定台数(E) ()台 (E/A %)
- ・2020年度末における、EV付バス車両の総保有台数(F) ()台 (F/A %)
- ・2021年度末における、EV付バス車両の総保有予定台数(G) ()台 (G/A %)

⑩ インバウンド対応型バス(連節バス車両及び一体として導入する停留施設等)の導入について

整理記号	要望台数	要望台数	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (補助対象経費×補助率※)	導入予定時期
KB-23	連節バスの導入	台	千円	千円	令和 年 月 日
KB-24	PTPS車載器等の導入	台	千円	千円	令和 年 月 日
KB-25	停留施設の整備	式	千円	千円	令和 年 月 日

※補助率は、上記1. で必須メニュー導入計画がすべて「新規導入」となっている場合は1/2、それ以外は1/3を適用してください。

- ※1 補助対象経費は、連節ノンステップバスの導入及びこれと一体的に整備する停留所施設(停留所標識、上屋、風除け、ベンチ、情報提供システム等)、公共車両優先システム(PTPS)車載器及びバス車内の乗継情報提供システムの整備等に要する経費となります。
- ※2 車種、施設工事等の概要、価格のわかる資料を添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

停留施設の整備に係る具体的な事業内容を記載してください。

(次ページに続きます。)

⑪ その他訪日外国人旅行者が移動を楽しむ目的で導入するバス

整理記号	要望台数	要望台数	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額	導入予定時期
KB-26	サイクルバスの導入	台	千円	(上限額下記参照) 千円	令和 年 月 日
KB-27	水陸両用バスの導入	台	千円	(上限額下記参照) 千円	令和 年 月 日
KB-28	オープントップバスの導入	台	千円	(上限額下記参照) 千円	令和 年 月 日
KB-29	レストランバスの導入	台	千円	(上限額下記参照) 千円	令和 年 月 日
KB-30	上記以外のバスの導入	台	千円	(上限額下記参照) 千円	令和 年 月 日

※上限額は、上記1. で必須メニュー導入計画がすべて「新規導入」となっている場合は2,100千円、それ以外は1,400千円となります。「上記以外のバス」の内容を具体的に、複数の種類がある場合は、内訳も記載してください。

- ※1 サイクルバスの導入(KB-26)については、自転車を解体せずに乗車することができ、利用者への対応が多言語で対応している車両の導入・改造等に要する経費及び旅客施設において自転車を移動させるためのスロープの設置等に要する経費を補助対象とします(設計費、販促物作成費、多言語ウェブサイト作成費、翻訳費を含む。)
- ※2 水陸両用バス等の導入(KB-27~30)については、バス車両の導入・改造等に要する経費を補助対象とします(設計費、販促物作成費、多言語ウェブサイト作成費、翻訳費を含む。)
- ※3 車種、施設工事等の概要、価格のわかる資料を添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

⑫ 携帯端末機器用充電機器、非常用電源装置の導入

整理記号	事業概要	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (対象経費/2)※	導入予定時期
KB-31	情報端末への電源供給機器	台	千円	令和 年 月 日
KB-32	非常用電源装置	台	千円	令和 年 月 日
KB-33	その他付随機器	台	千円	令和 年 月 日

※ 補助率は、上記1. 必須メニュー導入計画の回答にかかわらず、1/2となります。

その他の内容を以下に具体的に記入してください。

- ※1 情報端末への電源供給機器(KB-31)は、災害等の発生時において訪日外国人旅行者が所有する携帯電話等の情報端末を充電するための機器が補助対象となります。(情報端末を同時に10台以上充電できるものが補助対象となります。)
- ※2 非常用電源装置は(KB-32)は、旅客施設や車内・船内において、多言語で情報提供等を行うために必要な非常用電源装置(蓄電池システム、発電機等)が補助対象となります。
- ※3 各導入機器については、故障、老朽化に対応するための機能の明確な向上を伴わない修理修繕、代替更新のみに要する経費は補助対象としません。
- ※4 各導入機器については、製品、機器構成が判別でき、補助対象経費が検証できるよう、カタログ、見積書(なければ価格表)の写しを添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

(前ページからの続き)

表示の多言語化率算出方法

2020年度: 対応済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%

2021年度: 対応済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%

案内放送の多言語化率算出方法

2020年度: 対応済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%

2021年度: 対応済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%

無料Wi-Fi導入率算出方法

2020年度: 導入済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%

2021年度: 導入済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%

クレジットカード機器導入率算出方法

2020年度: 導入済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%

2021年度: 導入済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%

ICカード決済機器導入率算出方法

2020年度: 導入済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%

2021年度: 導入済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%

QR決済機器導入率算出方法

2020年度: 導入済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%

2021年度: 導入済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%

洋式トイレ便器導入率算出方法

2020年度: 導入済み車両数()台 全便器数に占める割合()%

2021年度: 導入済み車両数()台 全便器数に占める割合()%

その他()導入率算出方法

2020年度: 導入済み車両数()台 ○○○○○に占める割合()%

2021年度: 導入済み車両数()台 ○○○○○に占める割合()%

記載内容に誤りが無いこと(補助対象経費は見積り等を基に必要経費を税抜きで記載、千円単で記載)を確認しました。

要望に漏れが無いことを確認しました。